

2025年6月2日

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社
一般社団法人日本UAS産業振興協議会

JUIDA 監修「機種別ドローン操縦者技能・運用証明証(ELIOS 3)講習プログラム」今秋始動へ ～国内初、機種別ライセンス制度の第1弾／本日6月2日より先行案内登録開始～

ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 熊田 貴之、以下ブルーイノベーション)は、一般社団法人 日本 UAS 産業振興協議会(事務局:東京都文京区、理事長 鈴木 真二、以下 JUIDA)が監修した「機種別ドローン操縦者技能・運用証明証(ELIOS 3)」(以下、本ライセンス)の講習プログラムを2025年秋より提供開始予定です。これに先立ち、本日6月2日より「先行案内登録」を開始いたします。

本ライセンスは、2024年6月にJUIDAおよびブルーイノベーション、ほか4社より発表された、「機種別ドローン操縦者技能・運用証明証」(以下、機種別ライセンス)の第1弾となります。対象となるのは、Flyability社製の屋内点検用ドローン「ELIOS 3」※1となり、本プログラムでは、機体の基本操作から専用ソフトウェアの使い方、応用的な操縦・運用スキルまでを網羅的に学ぶことができます。



■ 先行案内登録でいち早く情報を入手

今秋の講習提供に向け、日程・枠数・受講形式などの詳細が決まり次第、先行案内にご登録いただいた方へ優先的にご案内いたします。受講をご検討中の企業・団体・操縦者の皆様は、ぜひこの機会にご登録ください。

機種別ドローン操縦者技能・運用証明証(ELIOS 3)講習プログラム
先行案内登録窓口 (兼お問い合わせ窓口)
✉ inspection@blue-i.co.jp

■ インフラ点検業務における安全性と信頼性の強化

本講習プログラムを修了しライセンスを取得することで、ELIOS 3 の操縦者は、インフラ施設などの屋内点検業務において、確かな操縦技術と点検業務に必要な運用能力を備えた実務対応力のある操縦者であることが証明されます。

ELIOS 3 を活用した点検手法は、その有効性と信頼性が評価されており、国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)^{※2}、スマート保安技術カタログ^{※3}、下水道 DX 技術カタログ^{※4}などに登録・掲載されています。これにより、公共インフラ分野でのさらなる導入拡大が期待されています。

■ 講習プログラム内容

座学の部	✓ ELIOS 3 機体の特性について ✓ ELIOS 3 専用ソフトウェア Inspection トレーニング ✓ 点群処理ソフトウェア FARO Connect トレーニング
実技の部	✓ 操縦訓練(基礎編) ✓ 操縦訓練(応用編)
講習日程	2025 年秋予定 (詳細確定次第、先行登録者にご案内)
講習場所	板橋ドローンフィールド (東京都板橋区舟渡 4 丁目 3-1 MFLP・LOGIFRONT 東京板橋 内)

上記のコースは1単位から受講が可能です。座学・実技の計 5 つのコースをすべて受講し、最終テストに合格することで「機種別ドローン操縦者技能・運用証明証(ELIOS 3)」が発行されます。

■ なぜ「機種別ライセンス」が必要なのか

ドローンの性能や機能は機種ごとに大きく異なるため、実際の運用においては、使用する機体に対する高度な理解と操作スキルが求められます。

「機種別ライセンス」は、機種ごとに操縦技能評価と運用基準を規定、人と運用の両面で安全性を評価するもので、ドローン業界の安全性、信頼性、専門性の継続的な向上、ドローン運用アプリケーション(点検や物流、測量など)における操作ミス防止や緊急手順への精通などによる事故リスクの大幅な減少、ひいては業界全体の持続可能な成長と社会的受容の促進に貢献するものです。

(https://www.blue-i.co.jp/news/release/20240605_1.html)

■ ELIOS 3^{※1}について

ELIOS 3 は、Flyability SA(本社:スイス、以下 Flyability 社)が開発した非 GNSS 環境下の屋内空間などの飛行特性に優れた屋内用ドローン ELIOS シリーズの最新機種です。世界初の 3D マッピング用 LiDAR センサーを搭載。点検・施設情報をリアルタイムで 3D データ化し、位置特定が可能です。また、最新の SLAM 技術により操作性・安定性も大幅に向上し、操縦者の負担軽減と飛行時間の短縮を実現しています。ブルーイノベーションは 2018 年に日本における独占販売契約を Flyability 社と締結し、ELIOS シリーズを活用した屋内点検ソリューションの提供を開始しました。ブルーイノベーションは、2024 年現在、我が国ではプラントや発電所、下水道などを中心に 300 ヶ所を超える現場で ELIOS シリーズの導入実績があり、わが国では屋内点検の DX ソリューションのパイオニアとしてリードしてきました。



Photo courtesy of Flyability

(専用サイト: <https://blue-i.co.jp/elios3/>)



タンク・ボイラー内部



高所



配管・ダクト



煙突内部



橋梁



下水管内部

※2:国土交通省が運用している新技術情報提供システム。「ドローンを活用した橋梁点検技術」が登録(登録番号 KK-250014-A)。

<https://www.blue-i.co.jp/news/release/20250515.html>

※3:経済産業省所管のNITEが発行する電気設備のスマート保安技術をまとめたカタログ。「屋内施設向け球体点検ドローンを活用した設備点検」が掲載(要素 2024 00015-01)。<https://www.blue-i.co.jp/news/release/20250424.html>

※4:国土交通省が策定した上下水道施設のメンテナンスの高度化・効率化に向けたデジタル技術の導入を後押しするカタログ。「球体型ドローン「ELIOS 3」を活用した下水道点検技術」が掲載(p241)。<https://www.blue-i.co.jp/news/release/20250402.html>

■会社概要

ブルーイノベーション株式会社 (東京都文京区 | 東証 5597)

1999年6月設立。複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォームであるBlue Earth Platform(BEP)を軸に、以下ソリューションを開発・提供しています。

<http://www.blue-i.co.jp/>

- ・点検ソリューション(プラント・工場・公共インフラなどのスマート点検、3Dモデル化など)
- ・教育ソリューション(法人の人材育成、パイロット管理システム提供など)
- ・ポートソリューション(ドローンポートシステム提供など)
- ・ネクストソリューション(監視、清掃システム提供など)

一般社団法人日本UAS産業振興協議会 | JUIDA (東京都文京区)

近年飛躍的な発展を遂げている無人航空機システム(UAS)の、民生分野における積極的な利活用を推進し、UAS関連の新たな産業・市場の創造を行うとともに、UASの健全な発展に寄与することを目的として、2014年7月に設立されました。JUIDAは、国内外の研究機関、団体、関係企業と広く連携を図り、UASに関する最新情報を提供するとともに、さまざまな民生分野に最適なUASを開発できるような支援を行っています。

<https://uas-japan.org/>

本リリースに関する問い合わせ先

ブルーイノベーション株式会社 経営戦略部 広報・IR チーム

TEL:03-6801-8781 | E-Mail:press@blue-i.co.jp

一般社団法人日本UAS産業振興協議会 広報担当 植木

TEL:03-5459-3244 | E-Mail:press@uas-japan.org